

テーマ別科目群

①「地域開発・地域創生」科目群

地方創生，地域づくりといった地域の課題解決に貢献する人材の育成や課題解決方策を学ぶことができます。自治会町内会関係者が課題解決の方策を学ぶ機会や自治体職員，地域づくりを受託する民間企業，NPO 関係者が地域づくりの方策を科学的な学ぶことができます。地方創生コーディネーターや地域づくりファシリテーターとして活動することが予定されています。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・希望の地域社会論(佐藤 栄治)月 910 教・地域居住論(陣内 雄次)月 34 基・農村空間論(松村 啓子)木 34 地・地区計画(佐藤 栄治)火 12 地・まちづくり論(石井大一郎)木 910 国・地域社会論(古村 学)月 910	基・実践・宇都宮のまちづくり(鈴木信夫)水 78 基・災害に強いコミュニティづくり(飯塚明子)水 78 基・地誌学(鈴木 富之)水 910 基・ワークショップで学ぶ「ボランティアと市民活動」(湯本 浩之)水 56 地・農村マネジメント(原田 淳)火 34 地・NPO論(石井大一郎)木 34 教・地理学概論 A(松村 啓子)木 78 教・地域調査法(松村 啓子)火 34 教・地理学特講 B(松村 啓子)水 78 農・地域社会学(安藤 益夫)水 34

②「歴史学への視角」科目群

本学の歴史学関係科目では，新しい歴史学研究の成果をもとにした授業が展開されています。地元栃木県の歴史から，海外の歴史まで幅広く学習することができます。歴史認識を形成し直し，現代社会を見る新しい視角を獲得することができます。専門領域の歴史学習を通じて，未来を創造し提案する力量の形成に寄与します。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・地域の歴史(平野 哲也)月 12 基・ヨーロッパ地域文化論(大野斉子)月 56 基・農業と文明(齋藤 潔)月 78 基・歴史と民族(下田 淳)火 34 地・建築史Ⅲ(山崎 鯛介)木 5678 国・アメリカの経済と社会(磯谷玲)火 12 教・日本史概説 A(高山 慶子)木 78 教・外国史概説 A(倉橋 圭子)水 78 教・歴史学特講 C(下田 淳)月 34 教・美術史(本田 悟郎)水 56 教・日本文学史(近代)(鈴木 啓子)水 78 教・歴史学特講 B(高山 慶子)月 910 農・森林生産経済史(山本 美穂)火 56 農・日本経済史(大栗 行昭)木 12	基・科学思想史(小山 悠)火 34 基・歴史学入門(下田 淳)火 34 基・栃木県の歴史と文化(大栗 行昭)水 34 地・建築史Ⅱ(大嶽 陽徳)月 34 国・東洋史概説(松金 公正)木 34 国・イギリス文学史(市川裕見子)水 78 教・日本史概説 B(高山 慶子)月 910 教・外国史概説 B(下田 淳)月 34 教・日本文学史(古典)(小林とし子)水 56 教・アメリカ文学史(幡山 秀明)木 34 教・歴史学特講 A(高山 慶子)木 56 農・農業史(大栗 行昭)火 12

③「思索の科学」科目群

人間とは何か、私たちはどう生きるべきか、根源的な問いはいつも頭の片隅から離れることはありません。そうした思索を科学の方法や系統の中から学び直し、自己の心の平安を取り戻すことができます。同時に社会との関係の中で今後の自分の生き方を見つめ直す壮大なリフレクションの機会を提供します。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・現代美学(原田 葉子)火 34 基・西洋の倫理思想(杉本 隆久)火 78 基・現代思想(杉本 隆久)火 910 基・I より始めよ(岩井 秀和)木 78 基・ことばから見た人間(天沼 実)木 34 基・歴史と民族(下田 淳)火 34 国・表象文化論(大野 斉子)金 78 教・哲学概論(山田有希子)水 56 教・哲学特講 B(山田有希子)火 34	基・科学思想史(小山 悠)火 34 基・芸術学(原田 葉子)火 34 基・西洋思想(山田有希子)水 78 基・東洋思想(水野 雄司)木 34 基・論理学(小山 悠)金 34 国・アジアの歴史と思想(松金公正)月 56 教・教育哲学(上原 秀一)月 12 教・哲学特講 A(山田有希子)火 34



④「グローバル文化論」科目群

世界の動向は今や私たちの暮らしに大きな影響を与えています。ここでは「文化論」を中心に世界を学ぶことを通じて、文化とは何か、そして日本と何かを問い直す学びが提供されます。世界を見る視点から、自らの生き方や社会との関係を創り出す機会となります。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・農業と文明(齋藤 潔)月 78 基・文化人類学入門(柄木田康之)月 56 基・英文学入門(町田 直子)月 910 基・フランス文学(守永 直幹)火 78 国・韓国文化論(丁 貴連)木 910 国・移民と多文化教育(戚 傑)水 78 国・表象文化論(大野 斉子)金 78 国・イギリス文化論(出羽 尚)金 12 国・ヨーロッパの歴史と文化(下田淳)月 34 国・中国文化論(松金 公正)木 34 教・地誌学概論 B(松村 啓子)月 910	基・世界の農業(安藤 益夫)水 56 基・米文学入門(幡山 秀明)月 910 国・グローバル教育論(湯本 浩之)火 34 国・多文化共生基礎 H(国際社会論)(田巻松雄)水 12 国・イギリス文学史(市川裕見子)水 78 教・アメリカ文学史(幡山 秀明)木 34

⑤「経済学」科目群

本学には経済学部はありませんが、経済学の基礎から応用まで系統的に学ぶことができる授業が用意されています。理論と現実社会の中で生み出される人間の営みとしての経済生活を丁寧に学び直すことができます。特に農を核に据えた経済学は、日本社会を探究する上で欠かすことのできない領域です。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・経済分析入門（塚本 純）火 34 地・公共マネジメント（阪田 和哉）月 910 地・プロジェクト評価論（阪田和哉）水 56 国・アメリカの経済と社会（磯谷玲）火 12 農・ミクロ経済学（加藤 弘二）水 12 農・経済学概論（秋山 満）金 34 農・日本経済史（大栗 行昭）木 12 農・応用経済学（児玉 剛史）金 56 農・森林生産経済史（山本 美穂）火 56 農・環境・資源経済学（加藤 弘二）水 34 農・農業経営学（齋藤 潔）火 34	基・資本論を読もう（秋山 満）月 12 基・数理経済学入門（加藤 弘二）水 12 地・公共マネジメント（阪田 和哉）月 910 地・公共経済学（阪田 和哉）水 910 地・経済学概論（塚本 純）木 12 国・国際経済論（磯谷 玲）木 34 農・マクロ経済学（茅野甚治郎）月 12 教・地理学特講 B（松村 啓子）水 78 農・森林基礎経済学（山本 美穂）水 56 農・農業経済学（児玉 剛史）火 78

⑥「現代のアジア世界」科目群

アジアは今、政治的、経済的に大きく変動しています。世界の注目がアジアに集まる中で、日本の立ち位置や栃木県の未来を考えていく必要があります。地域振興や課題解決の方策をアジアに学ぶことも意義があることです。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
国・近現代中国論（松村 史紀）月 78 国・東南アジア論（マリー・ケオマノータム）木 56 国・中東地域研究（松尾 昌樹）木 34 農・比較農業構造論（安藤 益夫）月 56 農・フィールド研究論（相田 吉昭）金 12	国・アジアの歴史と思想（松金公正）月 56 国・タイ都市社会論（マリー・ケオマノータム）水 56 国・アジア太平洋文化社会研究 C（中国文化論演習）（松金 公正）木 56 農・農業経済学特別講義 I（閻美芳）水 56

⑦「福祉と高齢者」科目群

超高齢社会を迎えた日本の中で社会保障制度は大きく変更を余儀なくされています。人生 100 年時代をどのように生きるのか、私たちに課せられた課題は学びで解決していくしかありません。学ぶことを通じて、人生をより豊かなものとし、地域社会で生きていく道筋を見つけ出します。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・希望の地域社会論（佐藤 栄治）月 910 基・現代福祉事情（長谷川万由美）木 56 地・建築計画学Ⅳ（古賀 誉章）金 12 地・高齢者防災論（古賀 誉章）木 910 教・社会福祉援助技術論（石本真紀）木 34	教・社会福祉学概論（長谷川万由美）水 56

⑧「多文化共生」科目群

関東はもとより日本各地で、多くの外国人の労働者やその家族が私たちの隣人として生活しています。異なる国籍、言語、文化、宗教、思想信条、年齢、性別、性的指向性など多様な生活習慣を持つ人々と共に暮らすということは私たちの意識の変容を迫るものになります。多文化、多民族、多言語の日本社会をどのように捉えるのか、地域の人権課題としても学習しておかなくてはなりません。人権擁護委員をはじめとする地域の人権課題の解決に尽力する人々がここで学び多文化共生コーディネーターとして地域で活躍することが期待されています。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・男女共同参画社会を生きる(良香織)集中 基・グローバル化と外国人児童生徒教育(丸山剛史)火 34 基・ワークショップで学ぶ「変わりゆく現代社会の中の私たち」(湯本浩之)水 56 基・現代福祉事情(長谷川万由美)木 56 国・多文化共生教育(立花 有希)水 78 国・現代日本社会論(田巻 松雄)金 56 国・移民と多文化教育(戚 傑)水 78 国・グローバル・イシュー研究演習Ⅱ(重田康博)木 34 国・地球市民社会論(重田 康博)金 34 教・家庭経営論(赤塚 朋子)木 12	基・多文化共生論入門(立花 有希)水 34 基・セクソロジー入門(良 香織)水 34 地・多文化理解論(若園雄志郎)金 78 地・ワークショップ演習(若園雄志郎)水 5 国・国際人権論(藤井 広重)木 78 国・人の国際移動と日本(田巻松雄)金 56 国・グローバル・イシュー研究演習Ⅰ(重田康博)木 34

⑨「食と健康」科目群

食と健康は人類の大きな関心事です。この課題について系統的に学ぶことにより、家庭生活の充実と健康、安全に大きく寄与します。同時に食育様々な教育活動の指導者として活動できる素地を養うことができます。食と農の専門家として社会的な活動が期待されています。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・健康管理学概論(永井 真由美)月 34 基・食料生産の生物学(和田 義春)木 12 基・肥満の科学(小宮 秀明)木 78 地・ストレスマネジメント(白石智子)木 12 教・食物科学／食物科学(大森 玲子)金 56 教・トレーニング科学(加藤 謙一)木 56 教・食物科学(大森玲子)金 56 教・衛生学及び公衆衛生学(久保元芳)木 56 農・食品免疫学(山田 潔)火 34 農・食品加工論 (橋本 啓)月 34 農・食品生化学 (各論) (東 徳洋)木 34 農・食品機能論(熊谷 仁)集中 農・農村エネルギー学(菱沼 竜男)月 34 農・アグリバイオビジネス論(大西 孝幸)月 5678 農・農産物流通工学(田村 匡嗣)金 34 農・食品システム工学(田村 匡嗣)水 34	基・世界の農業(安藤 益夫)水 56 地・地域食育論(大森 玲子)金 78 農・食品生化学 (総論) (東 徳洋)火 34 農・フードシステム論(神代 英昭)木 34 農・食品化学(橋本 啓)月 34 農・家畜生産学(長尾 慶和)月 34 農・作物学Ⅰ(柏木 孝幸)火 12 農・経営戦略論(西山 未真)火 34 農・作物生産技術学(高橋 行継)水 12 農・栄養機能調節学(吉澤 史昭)木 12

⑩「心理学探求」科目群

人間の行動を手掛かりとして、直接観察することのできない心の中の過程（心的過程）を理解する心理学は、今なお多くの学習者を引きつけてやまない科学です。そしてそこから自分とか何かという問いに立ち戻るのかもしれませんが。そんな問いに応える科学にふれて人生をより豊かにすることができます。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・認知心理学入門(中村 真)水 12 基・学校臨床心理学(川原 誠司)木 34 地・ストレスマネジメント(白石智子)木 12 国・対人コミュニケーション論(中村 真)木 34 教・臨床心理学(白石 智子)木 56	基・行動心理学入門(下司 忠大)水 78 基・実験心理学入門(下司 忠大)水 910 教・発達心理学(石川 隆行)水 34 教・知的障害児心理・生理・病理(司城紀代美)水 56

⑪「子どもの発達と障害」科目群

子どもは、様々な環境との相互作用により発達していきます。これまでの体験を基にして、環境に働きかけ、環境との相互作用を通して、豊かな心情、意欲及び態度を身に付け新たな能力を獲得していきます。1993 年度と比べると、特別支援学校または特別支援学級に通う小学校段階の児童は 2.1 倍、中学校段階の生徒は 1.9 倍になっています。単に障害のある児童・生徒の増加というだけでなく、一人ひとりの障害の状況に応じて個別の教育支援を進める必要があります。学校教育を巡る喫緊の課題を学び、学校支援人材として活動することが期待されます。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・子どもの言語とコミュニケーション入門(岡澤慎一)月 910 教・教育相談(川原 誠司)金 12 教・特別支援教育概論(池本喜代正)水 56 教・障害児療育論(石川由美子)金 78 教・病弱児教育概論(池本喜代正)水 78 教・知的障害児教育課程論(池本喜代正)木 34 教・知的障害児指導法(司城紀代美)金 12 教・知的障害児心理学特論(石川由美子)金 56	基・特別支援教育基礎論(岡澤慎一)月 12 教・知的障害児自立支援論(石川由美子)月 910 教・肢体不自由児教育概論(池本喜代正)水 78 教・知的障害児心理・生理・病理(司城紀代美)水 56



⑫「暮らしと科学」科目群

私たちの衣食住を中心とした生活の中には沢山の科学技術が応用されています。生活周辺から改めて科学研究の成果を学ぶとともに、自らの生活スタイルを積極的に変えていく柔軟性を身につける必要があります。そうした身近な科学を系統的に学ぶことができます。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・21世紀を支える熱帯植物(福井 糧)火 34 基・身のまわりの ICT(山田 義治)火 56 基・不思議な化学(江川千佳司)月 34 基・身近な気象学(高橋 行継)月 34 基・生物の多様性とは何か(西尾 孝佳)月 56 基・ノーベル化学賞周辺の化学(横田 信三)月 12 基・雑草と人の暮らし(小笠原 勝)火 34 基・人間生活と植物(山根 健治)木 12 基・ワイヤレス通信のしくみ(古神義則)金 12 基・食料生産の生物学(和田 義春)木 12 教・食物科学(大森玲子)金 56	基・家庭の中の物理(湯上 登)水 34 基・地球環境と生物事件史(相田 吉昭)水 34 基・雑草観察入門(西尾 孝佳)水 34 基・人間の感覚を測る(渡邊 信一)水 78 基・エレクトロニクス科学史(入江晃亘)水 56 教・被服素材論(佐々木和也)水 56 教・住生活論(陣内 雄次)木 12 教・住環境論(陣内 雄次)木 34 教・生活環境論(佐々木和也)水 12 教・被服素材論(佐々木和也)水 56 教・衣生活論(佐々木和也)金 56

⑬「現代教育科学」科目群

教育をめぐる問題は社会の大きな関心事でもありますが、同時にどのような未来社会を構想するのかが問われています。グローバル化する社会の中で教育を様々な角度から再検討する科目群です。多文化、特別支援、道徳、生涯学習など教育をめぐるさまざまな言説の中から、自らの教育観をより科学的で確かなものとするための学びが可能です。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・学校臨床心理学(川原 誠司)木 34 基・教育の裏側に光を当てる(若園雄志郎)月 56 基・グローバル化と外国人児童生徒教育(丸山剛史)火 34 基・科学・技術・教育・社会を考える(丸山剛史)水 910 基・教育課程及び方法・技術(情報機器及び教材の活用を含む)(青柳 宏)木 12 国・多文化共生教育(立花 有希)水 78 教・特別支援教育概論(池本喜代正)水 56 教・道徳教育(上原 秀一)木 78	基・教育原論(上原 秀一)木 34 地・生涯学習社会論(若園雄志郎)月 34 教・教育相談(白石 智子)金 12 教・社会学概論(小原 一馬)水 56 教・教育行政学(小野瀬善行)月 12 教・生徒指導・進路指導(橘川 眞彦)月 56 教・教育評価論(丸山 剛史)木 910

⑭「水の科学」科目群

「水」の動きは世界的な規模で私たちの暮らしに大きな影響を与えています。地球上の水の循環について、系統的に学ぶ学習機会です。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
地・水理学Ⅱ(池田 裕一)水 78 地・流域環境学Ⅱ(池田 裕一)月 56 農・水文・水資源学(松井 宏之)木 12 農・応用水理学(大澤 和敏)金 56	地・水理学Ⅰ(池田 裕一)月 34 地・流域環境学Ⅰ(池田 裕一)木 34 農・水質環境工学(松井 宏之)月 34

⑮ 「国際社会」科目群

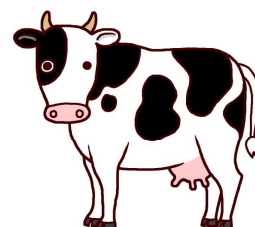
外国資本や外国人労働者問題は私たちの経済生活や教育，まちづくりを考える際にも不可欠な課題です。多民族国家である日本で暮らす私たちに必要な国際感覚，人権感覚を養うために必要な学びが提供されています。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
国・国際機構論(清水奈名子)水 12 国・国際協力論(重田 康博)木 910 国・地球市民社会論(重田 康博)金 34 国・移民と多文化教育(戚 傑)水 78 国・多文化共生基礎 G(国際経済論)(磯谷玲)木 34 国・グローバル・ガバナンス概論(栗原俊輔)月 78	基・農業と環境の科学(齋藤 潔)火 12 基・グローバル・ガバナンス論入門(栗原俊輔)水 56 国・多文化共生コア A(国際関係論)(清水奈名子)金 12 国・人の国際移動と日本(田巻松雄)金 56 国・グローバル教育論(湯本 浩之)火 34 国・国際経済論(磯谷 玲)木 34

⑯ 「動物理解」科目群

牛を中心とした経済動物について学びます。実際の動物に触れながら，動物を理解する技術とマインドを学びます。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
農・動物生産学概論(福井えみ子)水 78 農・動物衛生学(長尾 慶和)集中 農・生殖生物学(松本 浩道)金 12 農・実験動物学(松本 浩道)火 34	基・野外における野生動物識別テクニックの基礎(小寺 祐二)火 34 農・家畜生産学(長尾 慶和)月 34 農・動物生理学(青山 真人)水 78 農・動物行動学(青山 真人)水 12 農・動物繁殖学(松本 浩道)火 56 農・動物機能形態学(栗原 望)月 12



⑰ 「日本国憲法と法律」科目群

改正論議が注目されている日本国憲法をもう一度学ぶ機会です。複数の教員による多彩な日本国憲法の歴史，思想，性格を丁寧に学び，賢い選択ができる能力を身につけておきたいものです。この他に法学など科目が用意されています。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・日本国憲法(綿貫由実子)月 56 基・日本国憲法(綿貫由実子)月 78 基・日本国憲法(石川裕一郎)金 78 基・法学概論(黒川 亨子)水 56 教・民法(杉田 明子)火 34	基・日本国憲法(黒川 亨子)水 12 基・日本国憲法(石川裕一郎)金 78 基・著作権法入門(新井 恵美)月 78 基・法学入門(綿貫由実子)水 56 地・行政法(吉良 貴之)集中 教・法学特講 A(黒川 亨子)水 56

⑱ 「数学世界」科目群

周知のとおり、数学は全ての科学の基礎になります。本学では系統的に数学を学ぶ学習機会が幅広く提供されています。数学を用いた応用科学についても一群としてあげてあります。様々な角度からの数学世界に親しむことができます。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・現代数学入門(谷島 尚宏)木 56 地・マクロ経済学(塚本 純)木 910 地・統計学基礎(阪田 和哉)金 78 教・統計学(川上 貴)金 78 教・離散数学(鈴木 拓)月 78 教・代数学基礎(鈴木 拓)月 910 教・代数学Ⅱ(鈴木 拓)水 78 教・数学科教材論(北川 義久)金 78 教・解析学基礎(酒井 一博)水 56 教・関数論基礎(酒井 一博)木 78 教・幾何学Ⅱ(北川 義久)木 34 教・幾何学基礎(北川 義久)金 910 工・電気電子数学及演習(藤村 隆史)水 1234 工・フーリエ解析(矢嶋 徹)金 910 農・応用数学(大澤 和敏)金 34 農・生物統計学(青山 真人)火 78	基・電気電子数学入門(東 剛人)水 910 基・数理経済学入門(加藤 弘二)水 12 地・経済学概論(塚本 純)木 12 地・社会統計学(阪田 和哉)水 34 教・代数学概論(鈴木 拓)水 56 教・解析学概論(酒井 一博)水 56 教・工業数学(松原 真理)水 56 教・代数学Ⅰ(鈴木 拓)水 78 教・解析学Ⅰ(酒井 一博)火 34 教・幾何学Ⅰ(北川 義久)木 34 工・数値解析学(中村 敦)月 34 工・ベクトル解析(齋藤 雅子)火 910 工・数値解析(伊藤 聡志)水 56 工・応用幾何工学(谷島 尚宏)木 56 農・基礎数学(齋藤 高弘)金 56 農・マクロ経済学(茅野甚治郎)月 12 農・基礎統計学(松英 恵吾)月 34

⑲ 「もう一度理科・基礎科学」科目群

かつて私たちは学校で理科を学びましたが、科学技術の進展や計測機器の発達、研究の進展によって、私たちが持っていた「常識」は大きく変化しています。同時に興味深い現象や世界を私たちにみせてくれます。もう一度理科、基礎科学を学び直すことによって、私たちの暮らし方を再検討することができます。

平成 30 年度後期	平成 31 年度前期
基・不思議な化学(江川千佳司)月 34 基・身近な気象学(高橋 行継)月 34 基・生物の多様性とは何か(西尾 孝佳)月 56 基・食料生産の生物学(和田 義春)木 12 教・生命科学(井口 智文)月 34 教・環境生化学(山田 洋一)月 56 教・物理学(堀田 直巳)水 56 教・地球科学(中村 洋一)水 910 教・生物科学(上田 高嘉)木 12 教・化学(南 伸昌)金 12 農・地質学概説(相田 吉昭)月 78	基・環境と生物化学(池田 宰)水 12 基・家庭の中の物理(湯上 登)水 34 基・教養物理(川田 重夫)木 910 基・リメディアル化学(山田 洋一)木 910 教・有機化学(山田 洋一)月 56 教・基礎の物理学(堀田 直巳)木 34 教・基礎の地球科学(瀧本 家康)木 78 教・基礎の化学(山田 洋一)金 12 教・基礎の生物科学(井口 智文)金 78 農・地学概論Ⅰ(中村 洋一)火 910 農・物理学概説Ⅰ(檜山 正弘)火 78 農・生物学(概論)(長尾 慶和)金 12



